

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 6月14日

【評価実施概要】

事業所番号	0170503874		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり中の島		
所在地	札幌市豊平区中の島1条3丁目7番3号 (電話) 011-813-1294		
評価機関名	株式会社 社会教育総合研究所		
所在地	札幌市中央区南3条東2丁目1		
訪問調査日	平成19年6月12日	評価確定日	平成19年6月23日

【情報提供票より】 (平成19年5月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年3月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤15人, 非常勤0人, 常勤換算	15 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建の	2~3	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	20,000円 10,000円(暖房費11-3月)
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400 円		

(4) 利用者の概要 (5月21日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名	
要介護1	6	要介護2	6			
要介護3	3	要介護4	3			
要介護5	要支援2					
年齢	平均	82.5歳	最低	72歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人よつばクリニック・医療法人札幌中央病院・星川歯科医院
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームみのり中の島は、地下鉄駅に近い便利な場所に位置しており、建物は新しく、ホーム内は明るく清潔で広々としており、段差も少ない。管理者及び職員は、日々のケアサービスの向上に意欲を持って取り組んでおり、運営者の方針で費用は低く抑えられ、医療面も充実しており、職員の教育にも熱心である。利用者は、個々の能力やその日の体調に応じて、ベランダでの野菜づくり、洗濯物の繕い、掃除などの役割を受け持ち、大正琴、塗り絵、ビデオ鑑賞などの趣味も楽しみながら生活している。日々の栄養バランスの取れた食事やおやつ、月に一度

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	ホーム開設間もないため、今回のサービス評価が初回であり、自己評価の実施には、管理者を中心として職員全員で取り組んだ。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の実施には職員全員で取り組み、外部評価の結果を踏まえ、サービスの改善に取り組んでいくことを、全職員で確認している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は3回実施されており、ホーム側からの報告とともに、参加者からの意見・要望を受け、双方向的な話し合いを行っている。特に地域との交流について建設的な話し合いが行われている。今回のサービス評価の結果も運営推進会議の議題の一つとして取り上げていく予定である。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時には話し合いの時間を設けて利用者の状況について話をし、緊急時には電話連絡をし、定期的にホーム便りとお納明細・領収書のコピーを郵送するなどの情報発信を常に行っている。また、家族に対しては、気軽になんでも話し合える雰囲気作りに努めており、意見・要望等はミーティングなどで反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しており、町内の清掃や花壇造りなど地域行事には積極的に参加しているが、開設間もないこともあり、現状では管理者が中心であり、利用者や職員の参加はこれからの課題である。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、事業所、職員全体で実践していくための理念であるが、表現が一般的とは言えず、説明がないと理解しづらい。	○	地域密着型サービスとしては何が大切かを、再度全職員で確認し、具体的な表現を補足するなど工夫して、より分かりやすい事業所理念を作り上げていくことを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送り時に定期的に全職員で理念を唱和して意識付けを行い、理念の共有化と実践に取り組んでいる。	○	地域密着型サービスとしての役割を目指した理念を作り上げ、職員全員が理解し、日々の実践の中で具体化していくことを期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、町内の清掃や花壇造りなど地域行事には積極的に参加しているが、管理者が中心であり、職員や利用者を巻き込んだ活動にまでは至っていない。	○	町内会長が地域とホームとの交流に協力的であるので、今後は、管理者だけではなく、職員や利用者も参加できるよう、町内会との話し合いをさらに深めていくことを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム開設間もないため、今回のサービス評価が初回であるが、自己評価の実施には職員全員で取り組み、外部評価の結果を踏まえ改善に取り組んでいくことを、全職員で確認している。	○	評価の意義の理解と活用を、会議や個々のミーティングを通して全職員の共通理解を更に深めていくことを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は3回実施されており、ホーム側からの報告とともに、参加者からの意見・要望を受け、双方向的な話し合いを行っている。	○	今回のサービス評価の結果を運営推進会議の議題の一つとして取り上げ、さらに、サービス向上に生かしていくことを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が市区の担当者に電話や訪問するなどして情報提供を行っているが、訪問頻度は少ない。	○	市の窓口を頻繁に訪問して情報提供を行ない、市と協力してサービスの質の向上に取り組んでいくことを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には話し合いの時間を設けて利用者の状況について話し、緊急時には電話で連絡している。また、毎月定期的にホーム便りと出納明細・領収書のコピーを郵送している。利用者の日常生活の様子を書いた手紙を郵送することもある。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族に対しては、気軽になんでも話し合える雰囲気作りに努めており、意見・要望等はミーティングなどで反映させている。玄関に意見箱を設置しているが、特に意見が入ったことはない。	○	家族が意見・不満・苦情等を気兼ねなく表せる機会作りのために、現在設置されている意見箱の活用の工夫が望まれる。家族の訪問時に、無記名で、○×式で記載できるアンケート用紙を手渡しし、帰りに意見箱に入れてもらうなどの取り組みを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームが開設間もないため職員の離職があり、職員間の引継ぎ等には細心の注意を行ったが、利用者のダメージを防ぐための配慮はやや不足していた。	○	担当職員の異動に関しては、利用者への配慮とともに、家族等への不安に配慮して、手紙などによる状況説明や報告をきめ細やかに行っていくことを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成のために、計画的継続的な内部研修・外部研修プログラムが計画・実行されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム大会に職員を参加させており、同法人経営のグループホームとの日常的な交流、研修・勉強会など、同業者との交流を通じ、質の向上に積極的に取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に、本人や家族にホームを見学してもらったり、気軽に遊びに来てもらうなどしている。また、利用開始後には家族に宿泊してもらうなど、本人が不安なく納得した上でサービスを利用するよう配慮している。	○	サービス利用開始前から、事業所として、できること、できないことを利用者及び家族とよく話し合い、安心し、納得しながらサービスを利用してもらえる関係を作っていくことを期待したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者に対して、人生の大先輩として敬う気持ちを忘れないようにしている。植物の好きな利用者には、プランターの世話をお願いし、料理の得意な利用者には食事の仕度を手伝ってもらったり、料理のアドバイスをしてもらうなど、利用者と共に過ごし支えあう関係を築くよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との日々のかかわりの中で、会話や表情から一人ひとりの思いや意向について関心を寄せ、把握しようと努めている。	○	利用者がどこでどんな暮らしがしたいのか、家族等の協力を得ながら、検討していくことを期待したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を中心にアセスメントを実施しており、日々のかかわりの中で、利用者が自分らしく暮らせるように、家族や関係者の気づきや意見を反映した介護計画を、職員全員で話し合いながら作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居後、初回の介護計画を1ヶ月後に見直した後は、基本的に3ヶ月ごとに実施しているが、状況に応じて変化時に見直している。	○	今後は、状態の変化が見られない場合でも利用者及び家族の意向をきめ細かく確認しながら常に新鮮な目で見直しをしていくことを期待したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	短期入所の居室を準備してある。利用者の居室で、家族は自由に宿泊でき、通院時の送迎など必要な支援には臨機応変に対応している。時には、階下の認知症対応の併設通所介護の天然湯に近い広い入浴設備で、ゆったり入浴する機会も作っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携クリニックによる月2回の往診、歯科往診を実施しているが、利用者が、かかりつけ医の受診を希望した時には、本人、家族と話し合いながら、事情に応じ職員が同行するなどの支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時や状態変化時など、段階的な書類を作成し、看取りの指針について書類で説明し、家族、関係者で話し合い共有している。	○	重度化や終末期に向けた準備をされているので、今後も勉強会や外部の研修会を通して、看取りの学びを管理者、職員間でさらに深めていくことを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉遣いは丁寧に、個別的にきちんと対応している。居室には、好みのグッツや暖簾などで各々の居室が識別できるようにし、外部からのプライバシーに配慮している。	○	利用者、家族の前で他者の個人的な話を慎み、傷つかない思いやりの対応に取り組まれているので、研修の場などを通し、プライバシーの内容や対応をさらに深めていくことを期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	服装選びやおしゃれを尊重し、広いリビングで好きな飲み物を選び自由に過ごせる環境がある。食事時間もゆったりと会話や交流を楽しみ、時間のかかる利用者にも合わせ個別のペースを大切にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力に応じながら、料理の味見や食事用のお絞りたたみ、また、配膳テーブルを工夫し、お膳に湯飲み・箸のセットと下膳、茶わん拭きなどを職員と一緒にしながら能力を活かすように関わっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニットごとに、曜日と時間は大まかに決められている。一人で入れる希望者には自由に入浴できるように努めているが、個別な要望に対応できるまでには至っていない。	○	他のユニット、併設の通所介護などの浴室も利用し、夜間も含め、個別的な希望に沿う入浴機会を可能な限りで検討されるよう期待したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ベランダでの野菜づくり、洗濯物の繕い、掃除など役割を引き出し、また、大正琴、塗り絵、ビデオ鑑賞などの楽しみごとなど、積極的な場面作りで支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の人数から、完全とは言えないが、工夫しながら、近くの生協での買い物や散歩も個別的に対応している。また、月に1回、全員で外食を楽しんでいる。	○	全員での外食に取り組まれているが、個々の希望に応じた、好きな食べ物など、個別的な外出の楽しみづくりをさらに期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居当時には帰宅願望の強い利用者もいたが、玄関に出る気配に注意し、さりげない声かけや同行をするなどして安全に配慮した支援を行ってきた。現在も引き続きチーム連携で、出て行く気配を見落とさないよう見守りをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、職員の指導も含め、防災訓練を実施しているが、3階建ての構造から、夜間体制の不安も残しているため災害対策の具体的な検討を行っているところである。	○	全職員の消火器取扱いの訓練を行い、推進運営会議などで、避難回路や場所も含め、地域との協力体制を具体的に検討することを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の記録用紙に、健康チェック、水分・食事量などを分かりやすく記録し、状態把握に努めながら支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は、ベランダの窓枠を大きくとり、キッチン是对面式で壁がなく、広々として明るい。共用空間には安全を配慮した工夫と、日常生活に沿って要所に椅子が用意してあり、運動機器も設置して自立への環境づくりに工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者の使い慣れた家具や馴染みの物が用意され、安全で安心な生活の場となっている。本人と家族との話し合いの中で、さらに居心地が良くなる工夫をしているところである。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。